

平成24年度 事業報告書

社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会

目次

総括	1
実施事業の概要	1
事業の実施状況	
1. 地域福祉活動の推進	3
(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現	3
① 地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進	3
ア. 福祉協力員制度の推進	3
イ. ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進	4
ウ. 敬老会開催の支援	5
エ. 地区福祉まつり事業の促進	5
オ. 男性高齢者調理講習会開催の促進	5
カ. ふれあい・いきいきサロン設置の促進	5
キ. 安心・安全情報キット配付事業の推進	6
ク. 地区社会福祉協議会への支援	6
② 市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進	6
ア. ファミリーケアサービス事業の促進	6
イ. 総合相談センター機能の強化	7
ウ. 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進	7
エ. ふれあい訪問事業の推進	7
オ. 福祉車両貸出サービス事業の推進	8
カ. 車いす等貸出サービス事業の推進	8
キ. 福祉機器・介護用品展示室の開設	8
ク. 援護事業	8
ケ. 社会福祉資金貸付事業	8
コ. 移送サービス事業の推進	9
サ. 在宅介護者のつどいの実施	9
(2) ボランティア活動・市民活動の推進	10
① ボランティアへの理解の促進	10
ア. ボランティア養成・ボランティア活動の推進	10
イ. ボランティア団体への活動支援の推進	11
ウ. 福祉共育講座の充実	12
エ. 善意銀行事業の推進	13
② 災害ボランティア活動等の実施	14
(3) 地域福祉を支える基盤の整備	14
① 関係機関・団体等との連携・協働の推進	14
ア. 自治会・民生委員児童委員協議会など関係機関との連携・協働の推進	14
イ. 福祉団体などとの連携・協働の推進	14
ウ. 福祉施設・事業所などとの連携・協働の推進	14
エ. 各種行事助成	15

オ.	各種団体に対する補助	15
カ.	各種事業に対する共催・後援	15
②	地域福祉活動への参画促進	17
ア.	広報・啓発活動の強化	17
イ.	財政基盤の強化	17
ウ.	福祉に関する情報発信機能の充実	18
③	組織体制の強化	18
ア.	会務の運営	18
イ.	苦情解決体制	21
2.	介護保険事業の推進	22
(1)	介護保険事業の推進	22
①	訪問介護事業の運営	22
②	通所介護事業の運営	22
③	訪問入浴介護事業の運営	23
④	居宅介護支援事業の運営	23
⑤	障がい福祉サービスの運営	23
3.	指定管理施設等の管理・経営	25
(1)	指定管理施設の管理・経営	25
①	老人福祉センターの管理・経営（5施設）	25
②	地域活動支援センターの管理・経営（3施設）	28
③	総合福祉センターの管理・経営（2施設）	29
④	茂原健康交流センターの管理・経営（1施設）	30
(2)	市からの受託事業の実施	31
①	障がい者生活支援センター事業の実施	31
②	地域包括支援センター事業の実施	31
③	日中一時支援事業の実施	33
④	訪問介護員養成研修事業の実施	33
⑤	身体障がい者福祉バス事業の実施	34
⑥	ゆうあいひろばの管理運営	34
⑦	各種奉仕員養成講座の実施	34
⑧	要約筆記者派遣事業の実施	35
(3)	県社協からの受託事業の実施	35
①	権利擁護センター「あすてらす」事業の実施	35
②	地域権利擁護システム整備モデル事業の実施	36
③	成年後見制度利用促進事業（栃の実基金補助事業）の実施	36
④	生活福祉資金等貸付事業の実施	36

総 括

近年の社会経済状況は依然として厳しく、長期にわたる経済不況が続いている中、急速な少子高齢化や、古くから地域に根付いていた互助の精神の希薄化が進み、地域社会の在り方が、様変わりしてきています。

そのような状況下ではありますが、本会では住民参加を主体とした地域福祉活動を推進する団体として、誰もが住み慣れた地域で自立した心豊かな生活が送れるよう、ともに支えあい助けあいながら安心して暮らし続けることができる地域社会の実現を目指し、様々な福祉事業や福祉活動、また東日本大震災の避難者支援活動等を実施しました。

実施事業の概要

1. 地域福祉活動の推進

すべての人々にやさしい福祉のまちづくりを実現するために、市社会福祉協議会・地区社会福祉協議会・福祉協力員が核となって地域福祉活動を積極的に展開し、地域福祉を推進するための総合的な組織化に取り組みました。

(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現

「誰もが、住み慣れた家庭や地域で、その人らしく、安心して自立した生活を送るための支えあい社会」の実現に向けた事業を進めました。

①地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進

地区で活動する福祉協力員に対し研修会を開催する等の支援を行い、福祉協力員の活動の充実を図りました。また、地区社会福祉協議会で実施する地域福祉活動への助成を行うとともに、地区担当者（コミュニティワーカー）を配置し、地区社会福祉協議会の事業運営等の支援を行い、住民相互の支えあい活動を推進しました。

また、新規事業としてふれあい・いきいきサロン設置や、安心・安全情報キット配付の推進に取り組みました。

②市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進

住み慣れた地域や家庭で自立した心豊かな生活が送れるよう、利用会員と協力会員で構成する有償のファミリーケアサービス事業、様々な生活・福祉問題等について相談支援を行う総合相談センター事業や福祉車両・車いすの無料貸出し事業などを推進し、自立した生活の支援に取り組みました。

(2) ボランティア活動・市民活動の推進

ボランティア活動や市民活動を支援するために、相談や登録並びに調整を行うとともに、市民の関心を高め、積極的な活動が展開されるよう各種養成講座を実施しました。

また、昨年度から引き続き東日本大震災により、宇都宮市内において避難生活を送っている方々への支援活動を実施しました。

(3) 地域福祉を支える基盤の整備

地域の福祉課題に柔軟に応えることができるよう委員会等の整備を図り、地域福祉の効率的推進に取り組むとともに、本会の役割や活動内容を積極的に広報することにより、会員会費をはじめとする自主財源の確保等に努め、財務体質の強化を図りました。

2. 介護保険事業の推進

介護保険法に基づき、介護保険事業者として、要介護者等の心身の状況にふさわしい介護サービスを提供するとともに、サービスの質の向上や改善を行い、適切な事業運営に努めました。

3. 指定管理施設等の管理・経営

施設の設置目的や特性、業務内容、運営実態等を踏まえ、住民福祉の増進に努めるとともに、より効果的かつ効率的に施設の機能を発揮できる管理・経営に努めました。

また、宇都宮市及び栃木県社会福祉協議会からの受託事業について、事業の目的及び趣旨に基づき適正に実施しました。

事業の実施状況

1. 地域福祉活動の推進

(1) 住み慣れた地域や家庭で安心して暮らし続けることができる地域社会の実現

①地区社会福祉協議会と連携による地域福祉活動の推進

ア. 福祉協力員制度の促進

小地域福祉ネットワーク活動を推進するため、福祉協力員を委嘱するとともに、福祉協力員連絡会への支援及び活動費の助成を行った。

(助成総額 4,184,000 円)

○地区別 福祉協力員数

地 区	協力員数	地 区	協力員数
中 央	41人	陽 南	52人
東	55人	緑が丘	68人
西	47人	陽 光	52人
築 瀬	12人	宮 の 原	39人
西 原	52人	横 川	117人
昭 和	56人	瑞 穂 野	36人
錦	34人	雀 宮	104人
城 東	35人	五代若松原	40人
今 泉	35人	戸 祭	72人
泉が丘	56人	御 幸	36人
峰	54人	御幸が原	45人
平 石	10人	細 谷	62人
石 井	118人	篠 井	10人
陽 東	42人	富 屋	17人
清 原	95人	国 本	59人
桜	54人	豊 郷	130人
宝 木	60人	上 河 内	42人
富 士 見	74人	河 内	179人
明 保	29人	合 計	2,343人 (前年比 +84人)
城 山	45人		
姿 川	179人		

○福祉協力員地域ブロック別研修会の開催

福祉協力員活動の推進と充実を図ることを目的に、ブロックごとに福祉協力員研修会を開催した。

【共通テーマ】

内 容 講演「福祉協力員の役割と地域包括支援センターとの連携・協働」
事例発表「地域包括支援センターの概要について」
講師・アドバイザー 栃木県地域包括・在宅支援センター協議会長 浜野修氏

・中央ブロック研修会

開催日 平成25年2月15日（金）
参加者 75人
事例発表 地域包括支援センター御本丸

・北部・上河内・河内ブロック研修会

開催日 平成25年2月20日（水）
参加者 144人
事例発表 鬼怒地域包括支援センター

・南部ブロック研修会

開催日 平成25年2月21日（木）
参加者 212人
事例発表 地域包括支援センターようなん

・東部ブロック研修会

開催日 平成25年2月22日（金）
参加者 151人
事例発表 地域包括支援センター石井・陽東

・西部ブロック研修会

開催日 平成25年2月26日（火）
参加者 155人
事例発表 地域包括支援センター砥上

イ. ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業の促進

ひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業を実施した地区社会福祉協議会に対し、事業費の一部を助成した。

・39地区社協（全地区）へ助成（助成総額 8,520,000円）

・ふれあい会食事業に携わる地区の方々を対象に、食への安全・安心を図るため「調理ボランティア講習会」を開催し、保健所による食中毒・食品衛生指導を受け、地区社協の事例をもとに会食事業を実施するうえでの工夫等を学んだ。

開催日 平成24年6月19日(火)

参加者 114人

(前年比 +9人)

ウ. 敬老会開催の支援

宇都宮市、市社会福祉協議会、地区社会福祉協議会の共催により開催した敬老会の開催費用の一部を助成した。

・39地区社協(全地区)へ助成

(助成総額 4,436,985円)

エ. 地区福祉まつり事業の促進

地区社会福祉協議会が地域の関係機関等と協働して開催した地区福祉まつりの開催費用の一部を助成した。

(助成総額 162,879円)

- ・陽南地区
- ・河内地区
- ・戸祭地区
- ・城山地区

オ. 男性高齢者調理講習会開催の促進

おおむね65歳以上の男性を対象に、自立した心豊かな生活がおくれるよう調理法を学ぶとともに、同世代の方々の仲間づくりや交流を図るために、地区社会福祉協議会が開催した調理講習会の開催費用の一部を助成した。

(助成総額 197,403円)

・東地区	6回開催	参加者	延	72人
・西地区	2回開催	参加者	延	27人
・豊郷地区	5回開催	参加者	延	70人
・篠井地区	1回開催	参加者		15人
・城山地区	2回開催	参加者	延	23人
・昭和地区	12回開催	参加者	延	192人
・国本地区	1回開催	参加者		24人
・宮の原地区	2回開催	参加者	延	31人
・河内地区	1回開催	参加者		18人
		合計	延	472人

(前年比 +115人)

カ. ふれあい・いきいきサロン設置の促進(平成24年度新規事業)

ひとり暮らし高齢者などの居場所を確保し、地域ぐるみで見守り・支援を行う「ふれあい・いきいきサロン」の設置を促進した。

(助成総額 754,000円)

・19地区 47か所

キ. 安心・安全情報キット配付事業の推進（平成24年度新規事業）

在宅の高齢者及び障がい者等に対し、緊急時における救急隊などの支援者への速やかな対応と、日常における地域での見守り活動を促進するため、かかりつけ医や持病、緊急連絡先などを確認できる「安心・安全情報キット」を配付した。

・23地区 7,403本

ク. 地区社会福祉協議会への支援

○地区社協会長研修会の開催

- ・期 日 平成24年10月25日（木）～26日（金）
- ・視察地 横須賀市社会福祉協議会
- ・視察研修内容
 - ・ふれあい・いきいきサロン事業について
 - ・地区社協の事業（活動）について

○地域ブロック別地区社協会長会議の開催

（議題）

- ・「ふれあい・いきいきサロン事業」・「安心・安全情報キット配付事業」の進捗状況について（情報交換、意見交換）
- ・「ブロック別福祉協力員研修会」について
- ・「第3次宇都宮市やさしさをはぐくむ福祉のまちづくり推進計画・第3次宇都宮市福祉活動計画策定に伴うブロック別意見交換会」について

【東部ブロック】	平成24年8月2日（木）
【北部・上河内・河内ブロック】	平成24年8月2日（木）
【西部ブロック】	平成24年8月6日（月）
【南部ブロック】	平成24年8月8日（水）
【中央ブロック】	平成24年8月9日（木）

②市社会福祉協議会の地域福祉活動の推進

ア. ファミリーケアサービス事業の推進

日常生活を営むうえで支援が必要な高齢者や障がい者等の世帯（利用会員）に対し、協力会員が有償で家事援助などのサービスを提供した。

（総事業費 5,391,592円）

・利用会員	75人	（前年比 -21人）
・協力会員	33人	（前年比 -9人）
・利用件数	3,478件	（前年比 +226件）
・利用時間	5,425時間	（前年比 +261時間）
・サービス内容	掃除、食事の準備、洗濯、買い物、外出時の付き添い等	

イ. 総合相談センター機能の強化

地域住民の抱える生活・福祉問題等のさまざまな心配ごと、悩みごとの相談に応じられるよう「総合相談センター」を開設した。

(総事業費 4,045,738 円)

○相談内容

種 別	件 数	種 別	件 数
生計問題	64件	財産問題	42件
年金問題	6件	交通事故問題	10件
職業・生業問題	6件	児童福祉・母子保健問題	0件
住宅問題	44件	教育・青少年問題	0件
家族問題	104件	心身障がい者福祉問題	3件
結婚問題	5件	一人親福祉問題	0件
離婚問題	20件	高齢者福祉問題	7件
健康・衛生問題	6件	苦情問題	46件
医療問題	12件	その他	307件
精神衛生問題	302件	合 計	991件
人権・法律問題	7件		(前年比 +29件)

※ 開設回数 延 358回 (うち 特別相談日 45回、巡回相談日 68回)

- ・生活福祉相談 月～金曜日
- ・巡回相談 毎月各1回
第1木曜日：ことぶき会館、第2木曜日：ふれあい荘
第3木曜日：やすらぎ荘、第4木曜日：すこやか荘
第1火曜日：河内総合福祉センター
第2火曜日：上河内老人福祉センター
- ・特別相談 毎月各1回
第3火曜日：法律相談、第3水曜日：心身障がい者相談
第3木曜日：更生相談、第3金曜日：精神保健福祉相談 (平成24年度新規)

ウ. 福祉理美容出張費補助サービス事業の推進

理美容店に出向くことが困難な65歳以上の在宅の寝たきり高齢者に対して、散髪を行った際の出張費の補助を行った。

(総事業費 477,000 円)

- ・申請者 127人
- ・利用件数 (補助券) 318枚 (前年比 +82枚)

エ. ふれあい訪問事業の推進

おおむね70歳以上の近隣に近親者のいないひとり暮らし高齢者の家庭に、乳酸飲料を配達、手渡しすることにより、安否の確認と孤独感の解消を図った。

(総事業費 4,034,646 円)

- ・利用者 463人 (前年比 -39人)
- ・配達本数 延 64,042本 (前年比 -6,460本)
- ・状況確認 59件 (配達時に不在のため詳細を確認)
- ・緊急対応 2件 (救急搬送要請等)

オ. 福祉車両貸出サービス事業の推進

身体機能の低下や障がいなどにより公共交通機関の利用が困難な方に、通院や各種行事等への参加のために車いすのまま乗降できる福祉車両を無料で貸し出した。

- ・貸出件数 延 140件 (前年比 -17件)

カ. 車いす等貸出サービス事業の推進

一時的に車いす等が必要となった方など、市内10か所において原則3ヵ月を限度に車いす等を貸し出した。

- ・貸出件数 延 416件 (車いす、松葉杖等) (前年比 +69件)

キ. 福祉機器・介護用品展示室の開設

寝たきり高齢者等の介護者に、介護を容易にするための福祉機器及び介護用品等の情報を提供するため、福祉機器・介護用品展示室を開設した。

- ・利用者数 延 177人 (前年比 +53人)

ク. 援護事業

所持金紛失等により、目的地まで行くことのできない行旅人に対して、旅費(500円限度)を貸付した。

- ・行旅人 212人 106,000円 (前年比 -17人)

ケ. 社会福祉資金貸付事業

一時的に生活費に困窮した低所得者世帯に対し、50,000円を限度に資金の貸付を行った。

- ・貸付件数 0件 (前年比 -2件)
- ・償還件数 3件 (前年比 -2件)
- ・累積貸付件数 28件 (前年比 -17件)

コ. 移送サービス事業の推進

身体障がい者及び高齢者等で公共交通機関の利用が困難な方の便宜を図るため、医療機関・公共施設等への移送サービスを実施することにより、自立生活の支援を図った。

(総事業費 838,744 円)

○利用内容

(前年比 -2人)

登録者数	利用回数(延)	稼働日数	利用時間(延)	総走行距離
40人	290回	174日	614時間	8,769km

サ. 在宅介護者のつどいの実施

在宅で高齢者や障がい者の介護にあたっている方々に対し、介護技術や最新の介護機器・在宅福祉サービスの情報提供を行うとともに、介護者同士の交流及び介護疲れを癒し心身のリフレッシュを図るために実施した。

- ・第1回 平成24年5月24日(木)
参加者 25人 場所 足利方面
- ・第2回 平成24年10月23日(火)～24日(水)
参加者 23人 場所 群馬県・渋川方面

(2) ボランティア活動・市民活動の推進

市民のボランティアに関する理解を深め、関心を高めるとともに、近隣の住民同士が助け合うことを基本としたボランティア活動の推進を図るため、ボランティアセンターの運営を行った。

(総事業費 10,826,338 円)

①ボランティアへの理解の促進

ア. ボランティア養成・ボランティア活動の推進

○ボランティアコーディネーター相談事業

ボランティアの発掘及び育成支援を目的に、ボランティア相談並びにマッチング（調整）に努めた。

・各種相談・問合せ	9,466件	(前年比 +324件)
・ボランティア活動調整件数	564件	(前年比 -336件)
・ボランティア登録数(団体)	162団体	7,792人(前年比 -14団体 -642人)
(個人)	117人	(前年比 -11人)

○ボランティア体験プログラムの実施

ボランティア活動へのきっかけづくりを目的に、宇都宮市まちづくりセンターと共催でボランティア体験プログラムを実施した。

(エコキャップ集計・運搬)

・期 日	平成24年4月21日(土)、5月19日(土)、6月16日(土) 7月21日(土)、8月18日(土)、9月15日(土) 10月20日(土)、11月17日(土)、12月15日(土) 平成25年1月19日(土)、2月16日(土)、3月16日(土) 全12回	(前年比 ±0回)
・内 容	エコキャップ運搬活動を通し、ボランティア同士の交流を図った。	
・参加者	延 89人	(前年比 +51人)
・個 数	16,785,500個	(前年比 +3,105,500個)
・キロ数	39,959kg	(前年比 +5,759kg)
・ワクチン数	20,196人分	(前年比 +3,096人分)

○各種ボランティア養成講座の開催

講座名	内 容	開催日	開催回数	受講人数(延)	前年比
(ボランティア入門講座) 月1ぼらんていあ Saturday	ボランティア活動への興味・きっかけづくりのための入門講座	平成24年7/27, 7/28, 8/4, 12/15 平成25年1/19	全5回	78人	-4名
(学生ボランティアの養成) サマーボランティア スクール	高校生・大学生等を対象にしたボランティアスクール	平成24年 7/26, 7/27, 8/2, 8/3	全4回	40人	-10人
(技能ボランティアの養成) 災害ボランティア養成 講座	災害時におけるボランティア養成講座	平成24年 6/9, 6/16, 6/23, 6/30, 7/7	全5回	69人	-75人
(技能ボランティアの養成) 傾聴ボランティア養成 講座	高齢者に対する傾聴ボランティア養成講座	平成24年 9/4, 9/11, 9/18, 9/25	全4回	78人	+2人
(技能ボランティアの養成) 災害ボランティア フォローアップ講座	災害ボランティア登録者を対象に行うフォローアップ講座	平成25年3月5日	全1回	29人	+6人
(技能ボランティアの養成) コミュニティフレンド 養成講座 (H24年度新規事業)	障がい者のコミュニティフレンド(街の中の友だち)を養成する講座	平成25年3月29日	全1回	18人	

イ. ボランティア団体への活動支援の推進

○宇都宮ボランティア協会への助成

宇都宮ボランティア協会に助成金を交付し、活動を支援した。

○中間支援組織との連携強化

宇都宮市まちづくりセンター等の中間支援組織との情報共有及び連携を強化した。

○ボランティア活動用機材の貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、市内3か所(本所及び支所)の窓口において、活動に必要な機材の貸出しを行い、活動を支援した。

・貸出件数 延 126件 (前年比 -62件)
(液晶プロジェクター、テレビデオ、スクリーン等)

○ボランティアルームの貸出

登録しているボランティア団体・個人を対象に、活動場所となる部屋の貸出しを行い、活動を支援した。

・貸出件数 延 239団体 1,829人 (前年比 +49団体、+540名)

○ボランティアロッカーの貸出

登録しているボランティア団体を対象に、ロッカーの貸出しを行い、活動を支援した。

・貸出団体数 36団体 (前年比 ±0団体)

○ひとり暮らし高齢者友愛訪問の実施

・訪問者数 50人 (前年比 ±0人)
・活動内容 話し相手、清掃など

○対面朗読サービスの実施（ボランティア活動実践事業）

視覚障がいのある方等に対して、書籍・新聞など本人が希望する文書を対面にて読み上げる朗読サービスを、音訳ボランティアの協力により実施した。

・実施回数 43回 (前年比 +1回)
(毎月第2・4水曜日及び土曜日、ほか利用者の希望により別途調整日含む)
・利用者数 延 12人 (前年比 +1人)
・協力ボランティア数 延 83人 (前年比 +4人)

ウ. 福祉共育講座の充実

○出前福祉共育講座の実施

・実施回数 延 145回 (前年比 +31回)
(手話体験48回、アイマスク体験29回、点字体験35回、盲導犬育成講話9回、車いす体験21回、車いすスポーツ体験1回、ボランティア講話2回)
・受講者 延 5,158人 (前年比 +1,239人)

○福祉共育サポーター養成講座

出前福祉共育講座を支援するサポーターの養成講座を実施した。

・開催日 平成25年 2月15日(金)、2月22日(金)
3月1日(金)、3月8日(金) 全4回
・受講者 延81人 (前年比 -1人)

○出前福祉共育講座連絡会

出前福祉共育講座に協力いただいている講師等との交流会を開催し、講座プログラムの開発を検討した。

- ・開催日 平成24年7月17日（火）
- ・参加者 5人（視覚障がい者・身体障がい者講師）（前年比 ±0人）
- ・内容 「出前福祉共育講座」プログラムの検討

エ. 善意銀行事業の促進

○金銭・物品の預託・払い出し

項目	金額	前年比	備考
前年度繰越金	4,106,393円	+233,406円	
預託金受入	10,000円	-150,000円	
使用済み切手換金	78,707円	-25,981円	
プルタブ換金	27,972円	-18,889円	
未使用・書き損じハガキ換金	197,291円	+145,434円	
入れ歯リサイクル換金	37,305円	+37,305円	
合計	4,457,668円	+221,275円	

預託金払出	10,000円	±0円 (±0件)	預託者の指定 (1件)
	130,000円	+10,000円 (+1件)	火災見舞金 (13件)
払出合計	140,000円	+10,000円	

次年度繰越金	4,317,668円		+211,275円
--------	------------	--	-----------

○預託・収集物品

- ・預託品 61件（電動ベット、車いす、タオル等）（前年比 +13件）
- ・収集物品 1,081件（使用済み切手・テレホンカード、プルタブ、エコキャップ等）
（前年比 -124件）
- ・払い出し 50件（電動ベット、車いす、タオル等）（前年比 +14件）

②災害ボランティア活動等の実施

○東日本大震災避難者支援活動

東日本大震災の避難者支援事業を行った。活動資金については以下の助成金を活用した。

- ・栃木県社会福祉協議会『栃の実基金災害支援活動助成事業』
- ・栃木県共同募金会『日韓共同募金会東日本大震災救援プロジェクト』

(総事業費 400,000 円)

日時	内容	参加人数
平成 24 年 6 月 30 日 (土)	宇都宮城址公園・大谷資料館・平和観音の見学、手打ちそば・宇都宮餃子の提供、福島県の近況報告、交流茶話会	59名
平成 24 年 11 月 23 日 (金)	宇都宮市民福祉の祭典への招待、福島県浪江焼きそばの出店	

○宇都宮市総合防災訓練

災害ボランティアセンターの迅速な設置とボランティアの機能的・効率的な受入を行うため、総合防災訓練に参加し設置運営訓練を行った。

平成 24 年 8 月 25 日 (土) 宇都宮城址公園 18名

(職員、宇都宮ボランティア協会、災害ボランティア養成講座修了生)

(3) 地域福祉を支える基盤の整備

①関係機関・団体等との連携・協働の推進

ア. 自治会・民生委員児童委員協議会など関係機関との連携・協働の推進

市社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会が取り組む福祉協力員活動やひとり暮らし高齢者ふれあい会食事業などにおいて、自治会、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センターなどの関係機関との連携・協働を進めた。

イ. 福祉団体などとの連携・協働の推進

ボランティアセンターが取り組む「出前福祉共育講座」「ボランティア養成講座」や、地域で取り組む各種イベントにおいて、障害者福祉会連合会や老人クラブ連合会などの福祉団体と連携・協働を進めた。

ウ. 福祉施設・事業所などとの連携・協働の推進

各種イベントにおいて、高齢者・障がい者・児童の福祉施設・事業所との連携・協働を進めた。

エ. 各種行事助成

○第6回宇都宮市民福祉の祭典（宇都宮市民福祉の祭典実行委員会）

- ・助成額 250,000円
- ・主催 宇都宮市民福祉の祭典実行委員会（宇都宮市社会福祉協議会
宇都宮ボランティア協会・宇都宮市等 計10団体）
- ・開催日 平成24年11月23日（金）勤労感謝の日
- ・会場 総合福祉センター・中央生涯学習センター・まちかど広場
オリオンスクエア・宇都宮市役所14階大会議室
- ・参加協力団体 93団体（前年比 +1団体）
- ・一般来場者 約10,000人（前年比 ±0人）
- ・内容 表彰のほか、バザー、模擬店、障がい者の作品展示コーナー、
福祉書道展・絵画展、ボランティア相談コーナー、アトラク
ション、東日本大震災パネル展示、介護相談、スタンプラリー、
車いすダンス、チャリティマッサージ・メイク、いきいきサロン
など

※ バザー、模擬店などで得た収益金及び各参加団体等からの協力金
138,081円を「ぎんなん基金」にご寄附いただいた。

オ. 各種団体に対する補助

- ・宇都宮市遺族会連合会 636,000円

カ. 各種事業に対する共催・後援

事業内容	団体名	区分
宇都宮市敬老会	宇都宮市・地区社会福祉協議会	共催
第6回宇都宮市民福祉の祭典	宇都宮市・宇都宮ボランティア協会他	〃
第5回松本和将ピアノリサイタル	松本和将さんを応援する会	後援
ピア・カウンセリング講演会	自立生活センターとちぎ	〃
第104～109回 チャリティトチギアートオークション	有限会社匠堂宇都宮 栃木美術倶楽部	〃
ヒングソン氏招聘・講演会	公益財団法人とちぎYMCA	〃
宇都宮短期大学 地域福祉公開講座 「介護職員スキルアップ講座」	宇都宮短期大学	〃

第37回 日本自殺シンポジウム	社会福祉法人 栃木いのちの電話	〃
第31回 栃木県障害者卓球選手権大会	栃木県障害者卓球連盟	〃
第7回 栃木吃音を考えるつどい	栃木言友会	〃
ホームバージョンフェスティバル2012 ～心のバリアフリーを目指して～	社会福祉法人 宇都宮市障害者福祉会連合会	〃
まちぴあまつり 2012 元気いっぱいワイワイまつり	宇都宮市まちづくりセンター “まちぴあ”	〃
第15回星の家まつり	認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 自立援助ホーム『星の家』第15回星の家 まつり実行委員会	後援
第13回スミセイさわやか介護セミナー	株式会社 下野新聞社	〃
平成24年度 栃木県新たな公の担い手支援事業 「マネジメント強化事業」 「NPO職員のためのマネジメント力向上講座」	NPO 法人 とちぎユースサポーターズネットワーク	〃
第19回岡本台病院ふれあいまつり	栃木県立岡本台病院	〃
すぎの芽学園・センターすぎの芽絵画展	社会福祉法人 すぎの芽会	〃
第13回精神保健福祉ボランティア 全国のつどい in とちぎ	第13回精神保健福祉ボランティア全国 のつどい in とちぎ実行委員会	〃
第16回青少年の自立を支える会コンサート	認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会コンサート実行委員会	〃
東日本大震災被災地支援と東日本盲導犬 協会支援 映画「ふみ子の海」の上映と「マザーテレ サ写真展」	雀宮ボランティアネットワーク	〃
メンタルヘルス研修の説明会	NPO 法人 障害者のための馬事普及協会ピルエット	〃
映画上映&講演会	自立生活センターとちぎ	〃
第8回とちぎYMCAチャリティーラン	公益財団法人とちぎ YMCA	〃
2013年 第2回栃木県乗馬大会	NPO 法人 障害者のための馬事普及協会ピルエット	〃

②地域福祉活動への参画促進

ア. 広報・啓発活動の強化

○広報紙の発行

定期的に福祉情報等の提供を行い、市民に社会福祉協議会の活動内容の理解を深めてもらうために、広報紙「うつのみや社協だより」を発行した。

・第144号	平成24年	4月20日発行	21,000部
・第145号	平成24年	7月1日発行	21,000部
・第146号	平成24年	10月1日発行	21,000部
・第147号	平成25年	2月1日発行	21,000部

○ホームページの充実

福祉に関する情報、社協の概要など、より見やすく使いやすく提供できるよう、ホームページをリニューアルした。

イ. 財政基盤の強化

○社協会員の拡大

社協会員の拡大を図り、地域福祉事業を推進するための自主財源（会員会費）の確保に努めた。

地 区	合 計		地 区	合 計			
	会 員 数	会 費(円)		会 員 数	会 費(円)		
中央ブロック	中 央	1,563	596,900	南部ブロック	陽 南	2,995	898,600
	東	1,783	548,980		緑が丘	2,576	811,100
	西	1,949	603,900		陽 光	1,191	357,500
	築 瀬	2,221	544,400		宮の原	1,619	485,700
	西 原	1,395	441,200		横 川	5,165	1,656,311
	昭 和	1,824	547,210		瑞穂野	2,125	637,325
	錦	1,459	441,200		雀 宮	9,491	2,184,800
東部ブロック	城 東	1,653	495,990	五代若松原	1,645	493,500	
	今 泉	1,514	454,200	北部ブロック	戸 祭	3,001	933,350
	泉が丘	2,051	621,900		御 幸	1,673	502,100
	峰	2,162	648,790		御幸が原	2,243	663,050
	平 石	918	275,500		細 谷	3,714	1,124,860
	石 井	2,952	856,520		篠 井	633	190,100
	陽 東	1,874	568,542		富 屋	922	278,100
	清 原	5,911	2,248,300		国 本	3,361	1,022,300
桜	1,678	568,350	豊 郷		8,585	2,575,500	
西部ブロック	宝 木	3,723	1,137,750	上河内	2,195	658,700	
	富士見	3,321	1,015,000	河 内	7,020	2,208,870	
	明 保	1,348	404,540	事務局	456	3,512,500	
	城 山	3,584	1,075,400	合 計	112,162	37,289,661	
	姿 川	6,669	2,000,823				

※過去5年間における会費の状況は、次のとおりである。

区分		年度				
		平成24年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
合 計	会員数	112,252	109,834	114,003	110,264	111,566
	会費(円)	37,289,661	37,462,438	37,816,661	37,689,408	38,117,836
会費前年度比(%)		-0.4	-0.9	+0.3	-1.1	-1.0

○基金の造成及び適切な運用

ぎんなん基金寄附金を受け入れて、基金の造成に努めた。

- ・寄附状況 184件(企業、団体、個人等) 4,832,783円
(前年比 +18件、-9,972,302円)

ウ. 福祉に関する情報発信機能の充実

老人福祉センター(5施設)、地域活動支援センター(3施設)、総合福祉センター(2施設)、茂原健康交流センター(1施設)を地域の福祉拠点として、福祉情報の提供及び地域福祉事業等の推進を図った。

- ・総合相談センターの巡回相談の開設
- ・各種地域福祉講座・講習会等の福祉情報の提供
- ・車いす等の福祉機器の貸出

③組織体制の強化

ア. 会務の運営

【理事会の開催】

○平成24年5月18日(金)

(議 事)

- ・評議員の委嘱について
- ・総合相談センター設置規程の一部改正について
- ・職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・平成23年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成23年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○平成24年10月22日(月)

(報 告)

- ・宇都宮市老人クラブ連合会事務局の受託について

(議 事)

- ・評議員の委嘱について
- ・表彰規程の一部改正について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について

○平成24年11月1日(木)

(議 事)

- ・副会長の選任について

○平成25年3月12日(火)

(報 告)

- ・施設長の任命について

(議 事)

- ・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会役員選任規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所運営規程の制定について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所訪問入浴介護事業運営規程の廃止について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所介護予防訪問入浴介護事業運営規程の廃止について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会給与及び旅費規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事務・専決規程の一部改正について
- ・評議員の委嘱について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

○平成25年3月28日(木)

(議 事)

- ・正副会長の選任について
- ・職務代理者の指名について
- ・常務理事の指名について

【監事会の開催】

○平成24年5月9日(水)

(監 査)

- ・平成23年度 事業執行及び会計処理について

【評議員会の開催】

○平成24年5月30日（水）

（議 事）

- ・総合相談センター設置規程の一部改正について
- ・職員の育児・介護休業等に関する規程の一部改正について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会収支補正予算について
- ・平成23年度宇都宮市社会福祉協議会事業報告について
- ・平成23年度宇都宮市社会福祉協議会収支決算について

○平成24年11月1日（木）

（報 告）

- ・宇都宮市老人クラブ連合会事務局の受託について

（議 事）

- ・理事の選任について
- ・表彰規程の一部改正について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会第2次収支補正予算について

○平成25年3月28日（木）

（議 事）

- ・施設長の任命について

（報 告）

- ・宇都宮市社会福祉協議会定款の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会役員選任規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会指定特定相談支援事業所及び指定障害児相談支援事業所運営規程の制定について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所訪問入浴介護事業運営規程の廃止について
- ・宇都宮市社会福祉協議会上河内事業所介護予防訪問入浴介護事業運営規程の廃止について
- ・役員を選任について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会給与及び旅費規程の一部改正について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事務・専決規程の一部改正について
- ・平成24年度宇都宮市社会福祉協議会第3次収支補正予算について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会事業計画について
- ・平成25年度宇都宮市社会福祉協議会収支予算について

【事業経営委員会の開催】

○平成25年3月7日（木）

（報告事項）

- ・平成24年度指定管理施設及び介護保険事業等の経営状況について
- ・宇都宮市社会福祉協議会事業・組織の適正化に関する方針について

（協議事項）

- ・指定管理施設及び介護保険事業等の課題と平成25年度の取り組み（案）について

【ぎんなん基金運営委員会の開催】

○平成25年3月7日（木）

（報告事項）

- ・平成24年度ぎんなん基金活用状況、寄附及び積立金の運用状況について

（協議事項）

- ・平成25年度ぎんなん基金活用計画（案）について
- ・ぎんなん基金の課題について
- ・ぎんなん基金の今後の取り組みについて

【地域福祉事業運営委員会の開催】

○平成25年3月4日（月）

（報告事項）

- ・平成24年度地域福祉事業の推進状況について
- ・社会福祉協議会の事業・組織の適正化に関する基本方針について

（協議事項）

- ・第3次宇都宮市地域福祉活動計画（案）について
- ・平成25年度主要な地域福祉事業（案）について

【歳末たすけあい事業見直し検討委員会の開催】

○平成24年11月14日（水）

（報告事項）

- ・平成23年度歳末たすけあい運動募金実績について
- ・平成23年度歳末たすけあい運動配分実績について

（協議事項）

- ・平成24年度歳末たすけあい運動配分事業実施要項（案）について

イ. 苦情解決体制

福祉サービス等についての苦情に対し、各部署・施設等に苦情受付窓口を設けるとともに、第三者委員を設置し、社会性や客観性の確保を図りながら、円滑で円満に問題を解決するための体制を整え適切に対応した。

【第三者委員会の開催】

○平成24年6月11日（月）

（報告事項）

- ・宇都宮市社会福祉協議会における苦情解決システムの概要について
- ・平成24年度苦情の状況について

苦情件数 32件

（前年比 - 2件）

2. 介護保険事業の推進

(1) 介護保険事業の推進

①訪問介護事業の運営

(総事業費 34,828,720 円)

要介護者がある有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数)

(単位:人)

区 分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合 計
計	1,488	1,133	1,190	936	950	5,697

(前年比 -1,349 人)

・サービス種別利用状況内訳 (延回数)

(単位:回)

区 分	生活援助	身体・生活	身体介護	合 計
計	2,742	1,208	1,747	5,697

(前年比 -1,349 回)

○介護予防訪問介護事業

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防訪問介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳 (延人数)

(単位:人)

区 分	要支援1	要支援2	合 計
計	134	259	393

(前年比 +90 人)

・サービス種別利用状況内訳 (延回数)

(単位:回)

区 分	予防Ⅰ	予防Ⅱ	予防Ⅲ	合 計
計	182	175	36	393

・予防Ⅰ：週1回程度 予防Ⅱ：週2回程度 予防Ⅲ：週3回程度

②通所介護事業の運営 【河内事業所で実施】

(総事業費 28,049,588 円)

要介護者がある有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）

（単位：人）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	739	617	385	0	0	1,741

（前年比 -354人）

○介護予防通所介護事業【河内事業所で実施】

要支援者が要介護状態になることを予防し、居宅において自立した日常生活を営むことが出来るよう、介護予防通所介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）

（単位：人）

区分	要支援1	要支援2	合計
計	131	755	886

（前年比 -92人）

③訪問入浴介護事業の運営【上河内事業所で実施】（訪問介護事業と一体で実施）

要介護者がその有する機能に応じ、居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことが出来るよう、訪問入浴介護サービスを実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）

（単位：人）

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	0	0	29	155	179	363

（前年比 +27人）

④居宅介護支援事業の運営

（総事業費 14,758,883円）

要介護者が、居宅において自立した生活を営むために必要な居宅サービス等を適切に受けられるよう、居宅サービス計画や相談援助を実施した。

・介護度別利用者内訳（延人数）

（単位：人）

区分	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
計	175	378	353	253	271	107	65	1,602

（前年比 +325人）

⑤障がい者福祉サービスの運営

（総事業費 12,735,539円）

居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、障害者自立支援法に基づき、障がい福祉サービス（居宅介護・生活介護）を実施した。

・居宅介護（ホームヘルプサービス）利用者延人数

区 分	利用者数（人）
計	236

（前年比 -44人）

・生活介護（デイサービス）利用者延人数

区 分	人 数（人）
計	391

（前年比 -154人）

3. 指定管理施設等の管理・経営

(1) 指定管理施設の管理・経営

①老人福祉センターの管理・経営（5施設）

ことぶき会館・ふれあい荘・やすらぎ荘・すこやか荘

(指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日)

上河内老人福祉センター (指定管理期間 平成23年4月1日～平成26年3月31日)

(総運営費 20,235,000円)

ア. ことぶき会館

○利用状況

- ・開館日数 294日 (前年比 +6日)
- ・利用者数 延 87,193人 1日平均 296人 (前年比 +2,683人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,981人
教養講座		12講座 303回 9,704人
健康相談等	血压測定	1,220人
	健康相談	1,236人
	応急処置	9人
	健康器具利用	21,092人

○年間行事等

- ・ことぶき文化祭の開催 平成24年10月20日(土)～21日(日)
- ・ことぶき健康みんなの大学
(健康講話・健康チェック・つぼ体操教室等)の開催 68回
- ・ボランティア団体等の受入(民謡発表会・映画鑑賞会等)
- ・栃木SC健康教室の開催 2回
- ・交通安全講話の開催(管轄警察署協力)

イ. ふれあい荘

○利用状況

- ・開館日数 293日 (前年比 +5日)
- ・利用者数 延 46,266人 1日平均157人 (前年比 -113人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		769人
教養講座		13講座 272回 4,097人
健康相談等	血压測定	3,600人
	健康相談	438人
	応急処置	20人
	健康器具利用	15,099人

○年間行事等

- ・ふれあい祭の開催 平成24年10月17日(水)～18日(木)
- ・ふれあい音楽祭の開催 2回
- ・健康づくり講座の開催 1回
- ・囲碁将棋自主講座交流大会の開催 1回
- ・ボランティア団体等の受入(映画鑑賞会)
- ・栃木SC健康教室の開催 2回

ウ. やすらぎ荘

○利用状況

- ・開館日数 294日 (前年比 +65日)
- ・利用者数 延 42,049人 1日平均143人 (前年比 +10,574人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		5,061人
教養講座		17講座 347回 6,011人
健康相談等	血压測定	2,825人
	健康相談	961人
	応急処置	7人
	健康器具利用	19,443人

○年間行事等

- ・やすらぎ祭の開催 平成24年10月28日(日)～29日(月)
- ・健康講話の開催 1回

- ・敬老の日 地域中学校演奏会及び交流会の開催
- ・地域小学校との交流会の開催
- ・演芸発表会の開催
- ・交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)
- ・ボランティア団体等の受入 (鍼灸相談・民話発表・映画鑑賞会等)
- ・栃木S C健康教室の開催 2回

エ. すこやか荘

○利用状況

- ・開館日数 293日 (前年比 +19日)
- ・利用者数 延 61,916人 一日平均211人 (前年比 +7,601人)

(延人数)

区 分		内 訳
送迎バス利用者		6,433人
教養講座		16講座 340回 9,931人
健康 相談 等	血圧測定	1,670人
	健康相談	1,321人
	応急処置	28人
	健康器具利用	20,473人

○年間行事等

- ・すこやか荘文化祭の開催 平成24年11月9日(金)～10日(土)
- ・健康講話の開催 1回
- ・健康教室の開催 4回
- ・交通安全講話の開催 (管轄警察署協力)
- ・各種出前講座の開催 4回
- ・地域児童との世代間交流事業の開催
- ・ボランティア団体等の受入 (軽音楽演奏会・民話発表・映画鑑賞会等)
- ・栃木S C健康教室の開催 2回

オ. 上河内老人福祉センター

○利用状況

- ・開館日数 247日 (前年比 +9日)
- ・利用者数 延 4,137人 一日平均16人 (前年比 +328人)

(延人数)

区 分		内 訳
教養講座		4 講座 7 6 回 4 8 2 人
健康相談等	血圧測定	2 8 3 人
	健康相談	2 8 4 人
	応急処置	0 人
	健康器具利用	4 3 5 人

○年間行事等

- ・上河内老人福祉センター祭の開催 平成24年10月20日(土)
- ・健康体操の開催 20回
- ・太極拳教室の開催 3回
- ・押し花教室の開催 5回
- ・栃木SC健康教室の開催 2回

②地域活動支援センターの管理・経営(3施設)

雀の宮作業所・若草作業所 (指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日)
(総運営費 42,584,000円)

ア. 雀の宮作業所

○利用状況

- ・開所日数 245日 (前年比 +1日)
- ・利用登録者数 17人 (前年比 ±0人)
- ・利用者数 延 3,110人 (前年比 -79人)

イ. 若草作業所

○利用状況

- ・開所日数 245日 (前年比 +1日)
- ・利用登録者数 16人 (前年比 -2人)
- ・利用者数 延 2,512人 (前年比 -216人)

○生産活動の機会の提供

- ・電機部品の組立・菓子箱の組立・文書の封筒詰め及びシール貼り・各種製品箱詰め及び袋詰め・ダンボール製品組立て等

○社会参加・自立促進

- ・野外レクリエーション・社会見学・クリスマス会等の開催
- ・宇都宮市民福祉の祭典・うつのみやふれあい文化祭・栃木県障がい者スポーツ大会等への参加

ウ. 障がい者福祉センター（指定管理期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

（総運営費 36,307,000 円）

【講座事業】

○利用状況

- ・利用登録者数 123人 (前年比 -7人)

(延人数)

区 分	内 訳
講座事業	15講座 345回 3,163人

○年間行事等

- ・野外療育訓練の開催 2回
- ・地域活動支援センターとの交流会の開催 2回
- ・宇都宮ふれあい文化祭・宇都宮市民福祉の祭典・カルフルとちぎへの参加
- ・作品展の開催（市民プラザ・市役所ロビー・中央生涯学習センター）
- ・出前講座（パンフラワー短期講座）の開催 2回

【地域活動支援センター事業】

○利用状況

- ・利用登録者数 10人 (前年比 -1人)

○年間行事等

- ・野外療育訓練の開催 1回
- ・講座事業との交流会の開催 2回
- ・宇都宮市民福祉の祭典への参加
- ・音楽療法・買い物訓練・レクリエーション等の実施

【医療生活相談】

○相談状況

- ・開催回数 5回 (前年比 +1回)
- ・利用者数 8人 (前年比 +4人)

③総合福祉センターの管理・経営（2施設）

宇都宮市総合福祉センター（指定管理期間 平成 21 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

河内総合福祉センター（指定管理期間 平成 23 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）

ア. 宇都宮市総合福祉センター

(総運営費 70,860,981 円)

○利用状況

・開館日数 338日 (前年比 -6日)

(延人数)

区 分	内 訳	
会議室等利用者	83,304人	(前年比 -7,832人)
	4,679団体	(前年比 -125団体)
電子健康機器利用者	7,654人	(前年比 -1,643人)

イ. 河内総合福祉センター

(総運営費 48,153,000 円)

○利用状況

・開館日数 296日 (前年比 ±0日)

(延人数)

区 分	内 訳	
会議室等利用者	10,375人	(前年比 -1,164人)
	508団体	(前年比 -39団体)
大広間等利用者	28,241人	(前年比 +13,052人)
	浴室利用者	
	60歳以上	17,966人
	60歳未満	403人
	障がい者	13人
	子ども	36人
電子健康機器利用者	10,055人	(前年比 +4,335人)
送迎バス利用者	2,778人	(前年比 +1,298人)

※1 会議室等利用状況は、団体室・ボランティア室・朗読室含

④茂原健康交流センターの管理・経営（1施設）

(指定管理期間 平成21年4月1日～平成26年3月31日)

(総運営費 120,322,917 円)

○利用状況

・開館日数 283日 (前年比 +5日)

・利用者数 延 161,835人 一日平均571人 (前年比 +856人)

(延人数)

区 分	内 訳	
有 料	一般	37,241人
	高齢者	75,661人

有 料	子ども	7, 8 5 2 人
減 免	障がい者	2 3, 3 1 4 人
	介護者	1 0, 1 8 3 人
無 料	3 歳未満	4 8 3 人
	中学生以下	7, 1 0 1 人

※1 毎週土曜日は中学生以下無料

※2 上記人数には、オープン記念日、敬老の日、こどもの日の無料開放の人数は含まず。

○年間行事等

- ・高齢者健康づくり講座の開催
(水中運動教室 24 回 527 人参加 ・ 体操教室 24 回 356 人参加)
- ・高齢者等生きがいがづくり事業の開催 (サークル発表場の提供 10 回)
- ・健康づくり教室の開催 (体操教室 24 回 469 人参加)
- ・母の日「似顔絵展」 参加者 25 名
- ・父の日「似顔絵展」 参加者 25 名
- ・感謝イベント等の開催

イベント名	期 日	内 容	人数
こどもの日無料開放	平成 24 年 5 月 5 日 (土)	中学生以下無料	192 人
オープン記念日祭無料開放	平成 24 年 8 月 11 日 (土)	全員無料	935 人
敬老の日無料開放	平成 24 年 9 月 17 日 (月)	75 歳以上無料	76 人
クリスマスイベント	平成 24 年 12 月 24 日 (月)	抽選くじによるお菓子プレゼント	79 人
グラウンド・ゴルフ	平成 25 年 3 月 9 日 (土)	健康増進及び地域交流	68 人

(2) 市からの受託事業の実施

①障がい者生活支援センター事業の実施

宇都宮市障がい者生活支援センター (総合福祉センター) (平成 14 年 10 月 1 日受託)

宇都宮市障がい者生活支援センター (子ども発達センター) (平成 19 年 4 月 1 日受託)

(総事業費 20,029,092 円)

- ・相談支援を利用している障がい者 (児) の数 延 1, 4 3 3 人 (前年比 +30 人)
- ・相談件数 延 3, 1 4 6 件 (前年比 -290 件)
- ・個別支援会議 3 4 回開催 (前年比 +4 回)

②地域包括支援センター事業の実施

ア. 地域包括支援センター御本丸 (平成 18 年 4 月 1 日受託)

(総事業費 28,834,140 円)

○担当地区 中央地区・築瀬地区・城東地区

○総合相談支援事業

・相談者数 延 527人 (前年比 +15人)

○地域会議の開催

・中央地区 2回 ・築瀬地区 2回 ・城東地区 2回

○げんき応援高齢者支援業務

・介護保険認定申請非該当者へのケアマネジメント 延 51件 (前年比-7人)

○介護予防支援事業

・介護予防サービス、支援プラン作成 延 1,331件 (前年比-31人)
(うち、居宅介護支援事業所委託 891件)

○介護予防教室の開催

・中央地区 12回 ・築瀬地区 12回 ・城東地区 12回

○家族介護教室の開催

・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延 4回

○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

地 区	見守り活動会議	安否確認状況
中央地区	10回	10回
築瀬地区	0回	14回
城東地区	3回	49回

○地域介護予防活動支援事業

・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 4団体 延 8回

イ. 上河内包括支援センター(平成19年4月1日受託)

(総事業費 20,862,619円)

○担当地区 上河内地区

○総合相談支援事業

・相談者数 延 271人 (前年比 +55人)

○地域会議の開催

・上河内地区 2回

○げんき応援高齢者支援業務

・介護保険認定申請非該当者へのケアマネジメント 延 97件 (前年比-27人)

○介護予防支援事業

- ・介護予防サービス、支援プラン作成 延 626件 (前年比+102人)
(うち、居宅介護支援事業所委託 393件)

○介護予防教室の開催

- ・上河内地区 36回

○家族介護教室の開催

- ・介護知識、技術習得のための講話及び講習等の開催 延 2回

○ひとり暮らし安心ネットワーク事業

- ・見守り活動会議 延 8回

○地域介護予防活動支援事業

- ・介護予防教室等の修了者に対する自主グループ支援 1団体 延 6回

○その他の事業

- ・認知症サポーター養成講座の開催 3回 延 27人 (前年比-12人)

③日中一時支援事業の実施

- ・あっとほ一む・うだい (放課後支援型 平成19年7月12日受託)
 - ・あっとほ一む・すずめ (放課後支援型 平成16年4月1日受託)
 - ・あっとほ一む・かわち (放課後支援型 平成22年4月1日受託)
 - ・河内地域活動支援事業所 (日中支援型 平成19年5月24日受託)
- (総事業費 20,568,978円)

○施設別内容

施設名	区分	開所日数	登録者数	利用者延人数
あっとほ一む・うだい	放課後支援型	237日	18人	2,010人
あっとほ一む・すずめ	放課後支援型	245日	12人	1,227人
あっとほ一む・かわち	放課後支援型	245日	13人	1,617人
河内地域活動支援事業所	日中支援型	245日	14人	747人
	合計		57人	5,601人

(前年比 +326人)

④訪問介護員養成研修事業の実施

(総事業費 2,121,149円)

- ・期間 平成24年10月1日(月)～平成25年2月28日(木)
- ・会場 宇都宮市総合福祉センター・宇都宮短期大学・老人福祉施設等
- ・修了者 38人 (前年比 -1人)

⑤身体障がい者福祉バス事業の実施 (昭和54年5月1日受託)

障がい者の社会参加を促進するため、福祉バスの運行を行った。

(総事業費 8,948,457円)

○利用状況

- ・稼働日数 186日 (前年比 +13日)
- ・利用団体数 延 186団体 (前年比 +13団体)
- ・利用人数 延 4,227人 (前年比 +161人)

⑥ゆうあいひろばの管理運営 (平成19年7月31日受託)

(総運営費 20,299,000円)

○利用状況

- ・開館日数 357日 (前年比 -6日)
- ・利用者数 延 76,617人 (前年比 -1,786人)

○利用人数内訳

	人 数
幼 児	34,680人
小学生・中学生	9,686人
大 人	32,251人
合 計	76,617人

○事業開催状況

- | | | (延人数) |
|--------------------------|-----|--------|
| ・工作教室の開催 (七夕工作、プラバン工作等) | 33回 | 1,630人 |
| ・児童・青少年健全育成事業 (よみきかせ等) | 46回 | 1,566人 |
| ・ボランティア活用事業 (おもちゃクリニック) | 10回 | 201人 |
| ・季節行事の開催 (クリスマス会、節分豆まき等) | 5回 | 729人 |
| ・子育て支援事業 (子育てワイワイ) | 11回 | 395人 |

⑦各種奉仕員養成講座の実施

(総事業費 958,388円)

種 別		内 容	開催日	開催回数	受講人数 (延)	前年比
手話奉仕員 養成講座	入 門	手話の基礎知識と実技	平成24年5月～ 9月の毎水曜日	全18回	311人	-8人
	基 礎	手話の応用知識と実技	平成24年9月～ 平成25年3月の 毎水曜日	全23回	295人	-58人

点訳奉仕員 養成講座	入門	点訳の基礎知識と実技	平成24年5月～ 10月の毎月曜日	全20回	350人	+50人
	中級	点訳の応用知識と実技	平成24年10月～ 平成25年3月の毎月曜日	全20回	307人	+13人
音訳奉仕員 養成講座	初級	音訳の基礎知識と実技	平成24年5月～ 8月の毎水曜日	全15回	233人	+51人
	中級	音訳の応用知識と実技	平成24年9月～ 平成25年2月の毎水曜日	全20回	311人	+69人

⑧要約筆記者派遣事業の実施

聴覚障がい者等を対象に、日常生活を営むうえでコミュニケーションを必要とするときに、要約筆記者を派遣することにより社会参加を円滑にし、障がい者福祉の増進を図った。

- ・派遣依頼数 60件 (前年比 -14件)
- ・活動筆記者数 79人 (前年比 +5人)

(3) 県社協からの受託事業の実施

①権利擁護センター「あすてらす」事業の実施 (平成11年10月1日受託)

認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者など、判断能力が十分でない方々に対し、安心して地域等で暮らせるよう相談に応じるとともに、福祉サービスの利用援助や金銭管理等のサービスを提供した。

(総事業費 9,362,000円)

- ・担当地区 宇都宮市・上三川町
- ・契約者数 114人 (新規契約者：23名) (前年比 +7人)
- ・一般相談 毎週月曜日～金曜日 午前9時～午後4時
- ・専門相談 6・10・2月 第2火曜日 午前10時～正午 (弁護士による相談)
- ・相談件数 延 1,919件
- ・相談者内訳

区 分	相 談 件 数
認知症高齢者	1,112件
知的障がい者	334件
精神障がい者	352件
身体障がい者	116件
その他	5件
合 計	1,919件

②地域権利擁護システム整備モデル事業の実施

認知症や知的障がいなどの理由により、判断能力が不十分な方々の権利を尊重するため、成年後見制度を活用した権利擁護システムの整備を図るためのモデル事業を行った。

- ・ 検討委員会の開催 6回
- ・ 法人後見受任 2件（うち2件後見類型）

③成年後見制度利用促進事業（栃の実基金補助事業）の実施

○法人後見先進地視察の実施

地域権利擁護システム整備モデル事業運営の今後の参考とするため、福祉後見センターを立ち上げ、日常生活自立支援事業と成年後見制度を包括とした権利擁護システムを構築している法人後見先進地社協の視察を実施した。

- ・ 実施日 平成25年2月19日（火）
- ・ 視察先 東海村福祉後見サポートセンター（茨城県東海村社協）

○成年後見制度勉強会の実施

市民に対し成年後見制度の周知を図り、制度の理解と利用を促進すること、また、福祉関係者が、成年後見制度の利用ニーズがある相談に対して適切に対応できるよう制度の理解を深めることを目的に実施した。

- ・ 実施日 平成25年3月25日（月）
- ・ 講師 講談師 神田織音 氏
社会福祉士事務所長 大門亘 氏
- ・ 参加人数 120名

④生活福祉資金等貸付事業の実施

低所得者世帯などに対して、低利または無利子での資金の申請と必要な援助指導を行うことにより、経済的自立や生活意欲の向上及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるよう支援した。

資 金 種 別		申請件数
生活福祉資金	総合支援資金	79件
	福祉資金（福祉費）	24件
	福祉資金（緊急小口資金）	24件
	教育支援資金	23件
	不動産担保型生活資金	1件
	生活復興支援資金	1件
臨時特例つなぎ資金		25件
合 計		177件

(前年比 -50件)

- ・ 相談件数 延 2,800件

(前年比+259件)